

平成26年 第1回沼田町議会定例会 一般質問要旨

【町長】

通告順	1	質問 議員	高田議員
質問 項目	コンパクトエコタウン構想は町民に幸せをもたらすのか		
質問 内容	<p>平成25年度の後半から策定が始まった「農村型コンパクトエコタウン構想」であるが、発端は沼田厚生病院の無床診療所化に伴う、医療体制と介護体制の見直しである。</p> <p>昨年5月に行われた町民懇談会では、町立無床診療所と小規模多機能居宅介護施設を核とする他3件の介護施設の設置が、町民に提示されました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 町民懇談会では、平成25年度に基本構想、平成26年度に基本設計と実施設計、平成27年度以降に順次建設・開設となっているが、このスケジュールは守られるのか。エコタウン構想を策定している分、計画が遅れるのではないのか。 2, これら4つの介護施設を建設した時、建設にかかる費用はどれくらいを想定していて、町の財政に与える影響はいかほどか。 3, 現在ある和風園や旭寿園の経営を圧迫することはないのか。町民に負担をお願いする介護保険料がいくらになるのか。 4, 上記の懸念事項があるのであれば、医療と介護にかかわる緊急性のある部分はエコタウン構想から切り離し、身の丈にあった計画を策定し事業のスピードを早めてはどうか。 <p>計画が遅れていく間にも、新たに入院や介護が必要となる町民が出続けます。「農村型コンパクトエコタウン構想」は町民に幸せをもたらすのか。</p>		

通告順	2	質問議員	渡邊議員
質問項目	行財政のスリム化と、これからの行財政運営について		
質問内容	<p>わが町の人口規模と予算総額を比べたとき、今後の人口減少も考えると、同等規模での予算継続には無理があると思います。</p> <p>今のうちに事業の仕分けや見直しを徹底し、当初予算段階からの行財政のスリム化を図るべきと思うがいかがか。</p> <p>また、観光振興と絡めた職員体制の充実を検討しているようですが、少ない職員数の中で、出向させてまで住民サービスを進めることに疑問を感じます。今後、商工会での職員体制と庁舎内の機構について、どのように考えているのか、さらには今後、行財政運営を進めるにあたり、限られた予算の中で、町長はいかに町民が実感でき、効果ある事業を進めようとしているのかお伺いします。</p>		

通告順	3	質問議員	上野議員
質問項目	沼田町の公園について		
質問内容	<p>沼田町には公園が何ヶ所かにありますが、遊具も少なく利用者も少ないようですが、大人はもちろん、子供達にとっても人とのコミュニケーションがとれ、大切な場所だと思います。</p> <p>これからのまちづくりに屋根付きで小川が流れ、大きなすべり台のある公園を作り、親子、子供達、大人も楽しめる公園を町中に作るべきと思うが、町長の考えを伺いたい。</p>		

通告順	4	質問 議員	津川議員
質問 項目	在宅介護と施設介護のバランスについて		
質問 内容	<p>沼田町の高齢化率は年々増加傾向にあり40%を超えるのも時間の問題であります。</p> <p>本町の介護認定者230人の動向を見てみると在宅介護の負担が大きいため施設入所に委ねる傾向にあります。旭寿園、和風園、なごみなどの施設はほぼ満所状態です。</p> <p>施設介護者の増加から介護保険給付額も3億円を超えております。</p> <p>27年度から始まる第6期の介護保険料の見直しが今年行われますが施設入所者の増加などの要因から現況の月額3,560円から上げなければならないと考えます。</p> <p>介護保険料の負担増、介護認定者増などを総合的に判断して在宅介護のあり方、施設介護のあり方、そして双方の割合はどの程度が望ましいのか町長の見解を伺いたい。</p>		

通告順	5	質問 議員	鵜野議員
質問 項目	沼田町の商品・農産物のPRについて		
質問 内容	<p>沼田町の加工品、農産物が消費地でたくさん消費されています。しかしながら、私たちはどこで、どの様にして売られているか分かりません。</p> <p>銀座では沼田産そばを使ったそば屋さん、他にもたくさん、そのような店があります。</p> <p>関西では沼田産大豆を使った納豆等、いろんな形で消費されています。この様な、沼田産の商品、販売しているお店の紹介等、町のホームページ、広報誌などを利用して紹介してはどうか。その事により、消費が増え、そうした商品、店が北海道沼田町のPRにつながるのではないかと。</p>		

通告順	6	質問 議員	絵内議員
質問 項目	パートナー対策について		
質問 内容	<p>本年も交流会を継続して実施するとの事ですが、町としてはどのように進まれるのか、お伺いします。</p> <p>私は、地域農業を維持するために本腰を入れて単独事業として取り組むべきと思いますが、町長の見解を伺います。</p>		

通告順	7	質問 議員	中村議員
質問 項目	がんばる高校生応援事業について		
質問 内容	<p>町内に高校が無くなって5年が経ちました。募集停止から数えると7年ですが、その間沼田の高校生は全員町外に通学しています。</p> <p>一方、町長の肝いりで始まった「がんばる高校生応援手当」は一定の評価を得ているようです。</p> <p>しかし、近隣町では、それを上回る支援をしているところもあるやに聞いています。</p> <p>そこで、この事業を拡充してJR定期券代相当（MAX旭川）の全額助成を実施するとすれば、どのくらいの追加予算が必要か。</p> <p>因みに、趣旨は違うが、10年前に沼田高校存続のために実施した支援額はどのくらいであったか。</p> <p>生産世代が移住を躊躇する要因の一つである「高校が無い」ことの対策をしなければいけないと思うがどうか。</p>		

通告順	8	質問 議員	中村議員
質問 項目	ふるさと納税について		
質問 内容	<p>自治体に寄付をしてそのお礼商品をゲットすることが静かなブームとなっています。</p> <p>例えば納税者が他の町に1万円を寄付すると8千円の税控除が受けられるので、実質2千円でその町のお礼商品をもたらえる。その商品はその町の特産品で、グレードも値段も高いものが頂ける。</p> <p>寄付を受ける側の町にとっても、見ず知らずの人から寄付が送られてきて、4千円や5千円の商品を贈ってもお釣りがくる。というものです。</p> <p>そこで、</p> <p>本町の直近3年間での「ふるさと納税」に相当する寄付の件数と総額はどのくらいか。</p> <p>そのお礼商品はどのようなものを贈っているか。</p> <p>それは予算書のどこにかいてあるか。</p> <p>沼田町産品である「ゆめぴりか10キロ」「農産加工品詰め合わせ」などを贈れば町のピーアールにもなるし、1000人から1000万円寄付が来て、かかった経費は500万円という夢のようなうまい話に乗っかってみてはどうだろう。</p>		

通告順	9	質問 議員	久保議員
質問 項目	金平町政、3年間の検証について		
質問 内容	<p>町長は、就任時には「何をやりたかったのか?」、2年目には「やりたいことは変わったのか? どう変わったのか?」、そして現在、「何ができたのか?」「何が出来なかったのか?」「何をしたいのか?」をお聞きしたい。 ※最初に3年間での、「人口（自然、社会）の増減」、「職員の増減」の推移についてお聞かせください。</p> <p>1. スケジュールについて 町長の度重なる発言である「グランド・デザインを示し、実行する。」が町民に見えて来ない。たとえば昨年6月の『医療説明会』で、「“消費税の値上げ前”、“町から厚生連への負担が重なる前”に進める」、と説明していたが、そうになっていない。むしろ町民からは、しびれを切らした厚生連や JA 北いぶきなどの「外圧」で腰を上げるように見える。計画とスケジュールと環境に整合性が無いから、そうになってしまうのではないのか?</p> <p>2. 財源について 沼田町農産加工場のように、たまたま補助金を受けた状態を期待しすぎてはいないか? 政策スケジュールに予算と財源の裏づけがかみ合っていない。むしろ一般財源を減らすばかりにならないか?</p> <p>3. 予算について 財源の裏付けのある予算づくりがされていないのではないのか?</p> <p>4. 人事 職員の苦勞が報われているのか? 町長の計画を「検証」するポジションはどこなのか? 役場がシンクタンクとして機能していないのではないのか?</p>		

通告順	10	質問 議員	長原議員
質問 項目	有害鳥獣対策の取組について		
質問 内容	<p>昨年度より農業被害を防ぐための電気牧柵が更新地区に設置され、その効果が期待されるところであります。しかしながら、鹿の頭数抑制にはなっておりません。駆除には猟友会に依るのが現状であります。</p> <p>今日、猟友会も会員減少の状況にあります。十数人の狩猟免許所有者がいると聞きますが、鹿の駆除を実施している会員は少なく、駆除に係る経費負担が大きく、この事が、会員数の増加につながらない要因ではないか。</p> <p>現状の助成金の拡充の考えはないか聞きたい。</p>		